



絆

学校だより No.3
令和5年6月30日
奄美市立住用中学校

『学び』で可能性の扉を開く住用中

不意に襲ってくる災害に備えて

校長 原 憲正

まずは、6月20日（火）から21日（水）まで続いた大雨によって浸水被害などに遭われた方々へ、心よりお見舞い申し上げます。まだ十分に片付いていないご家庭もあろうかと存じます。一日も早く、元の生活に戻ることが出来ますようお祈り申し上げます。

その日、午後7時に近所の方が住宅に「川の水が堤防ギリギリまで上がってきています！ 車とバイクを移動させた方がいいですよ！」と教えに来てくださって、そこで危険な状況が迫っていることを私は認識しました。

ほぼ同時に「石釜トンネルから先が冠水して車が通れないため中学校に3名避難されてきました。」と、まだ中学校にいた教頭先生から電話連絡を受けました。

支度をして西仲間から中学校に向かおうとした時、橋を渡った向こう側から道の駅にかけてすでに冠水しており、通行できない状態に。

仕方なく中学校は教頭先生にお願いし、わたしは西仲間公民館に避難しました。その後、午後11時頃からは雨も小康状態となり、日付が変わる頃には中学校に避難していた方々も自分たちもなんとか自宅に戻ることができました。

住用中学校では2年前から気象庁の方を講師にお招きして、10月に防災教室を実施しております。昨年度は小中合同で、保護者の方々や地域の区長さん方にもご参加いただき、ワークショップを行いました。また平成22年に発生した奄美豪雨災害を体験された方のお話も伺いました。今回の大雨による避難では、その防災教室で学んだことが活かされたでしょうか。

「ワークショップのために用意された架空の町の地図で避難行動を考えるのではなく、住用町の地図を使用して学習の方がより効果的ではないか」という反省が昨年度出されたこともあり、今年度は住用町のハザードマップを使用して学習する方向で計画しているところです。

10月20日（金）の10:45から防災教室を開催する予定です。三度このような状況に見舞われた時、命を守るための行動をどうとるか。保護者の方々はもちろん、地域の方も防災教室に参加して、今回の経験も踏まえながら一緒に考えてみる機会にしてみたいはいかがでしょうか。

命の大切さを学ぶ



6月8日（木）に満永恵利加さんをアドバイザーにお招きし、峯崎先生による「いのちの授業～生命誕生・妊婦疑似体験～」が行われました。授業では、妊婦スーツや手作り妊婦体験バッグなどを着用して授業を受け、妊婦の日常生活の大変さを実際に体験しつつ、胎児の成長の様子など基本的な知識を学びました。

そのあと、これまで二人のお子さんを出産されている満永さんに生徒が様々な質問をしました。満永さんをご自身の体験について丁寧に紹介してくださいました。そしてお腹に宿る三人目の出産を待っている今の気持ちを教えてくださいました。生徒は「赤ちゃんを産む事の大変さ」や「いのちの大切さ」ということをしっかりと感じたのではないのでしょうか。満永先生が峯崎先生の妹さんという心やすさも、授業の後子供たちは満永先生を囲んで、新しい命についての話をしていました。

命の守り方を知る



6月10日（土）に住用消防分駐署の生田さん、永田さんを講師にお招きしてAEDの使用の方法と心肺蘇生法について研修を行いました。意義ややり方についてお話を聞いた後、その後2つのグループに分かれて生徒全員が実技を行いました。いざというときにためらわず行動することの大切さを実感していました。

進路先を考える



6月2日(木)に市中学校、東城中学校、住用中学校合同で3年生を対象に合同高校説明会を開催しました。大島高校や奄美高校をはじめ公立・私立合わせ、島内外の5校の説明を聞きました。高校の先生方が熱心にそれぞれの高校の特徴などを説明してくださり、生徒にとっては今後の進路選択に向けての貴重な機会となりました。

歯と口の健康の大切さを知る



6月は「むし歯予防月間」です。それに合わせて、19日(月)に『歯と口の健康教室』を行いました。今年には養護教諭の牽崎先生が、むし歯のでき方やむし歯菌が活動する様子をプレゼンテーションして下さいました。むし歯菌がうごめく様子には思わず生徒たちもうめき声をもらっていました。正しい歯みがきの大切さについても教えてもらい、染め出し液で歯垢がよく見えるようになると、子どもたちは20分間も鏡を見ながら熱心に歯ブラシを動かしていました。

近々、保護者の皆様へむし歯治療の案内を配付いたします。併せて耳鼻科検診の結果もお知らせします。治療が必要な場合は早めの受診をお願いします。

読書活動推進助成金贈呈式

これまでの住用中の読書活動に奄美市教育委員会の推薦を受け、また今後の計画が評価され、公益財団法人日本教育公務員弘済会から助成金



10万円をいただけることになりました。写真は6月13日に鹿児島支部長の木場幸博さんが授与に来て下さった時のものです。読書環境の充実に大切に役立てていきます。

SOSの出し方教室

6月9日(金)、県のスクールカウンセラーの朝沼めぐみさんが本校を訪れました。昨年に続き、本校の担当をおつとめ下さいます。



第1回は、子どもたちに「ココロとSOS」と題して講話をして頂きました。中学生の時期は子供から大人への過渡期で様々なストレスに直面する時期です。先生は、①ストレスがあるときのココロや体のサインに気付く方法 ②ストレスをコントロールする方法の2つを人生の早い段階で身につけてほしいとお話しされました。

その上で、ストレスのサインに気付いたらできるだけ早くに対処し成長のきっかけにしていくことや、ため込みすぎたら、まわりの人に頼ったり、話を聞いてもらったり、一緒に考えてもらったりして、失敗しても色々な手立てで立ち直っていくことの大切さを訴えられました。

また、困ったり悩んだりしていることを誰かには話すことは悪いことでも恥ずかしいことでもダメなことでもなく「自分を大切にできる行動」なので信頼できる身近な大人3人になるべく早い内に話してみようと呼びかけられました。

全国的に中学生の自殺がここ数年過去最高を更新し続けていると聞きます。朝沼先生に聞いたお話を活かしてココロも体も健康に保ち健やかな成長を目指してほしいと思いました。

7・8月の主な行事

- 7/ 4 (火)・水泳学習(～12日まで)
- 7/ 5 (木)・民生委員学校訪問(10:00)
学校評議委員会
(校長室 18:00～)
- 7/ 8 (土) 校内弁論大会
(多目的ホール 11:00～)
- 7/19 (火) お弁当の日
- 7/20 (木) 終業式
- 7/21 (金) 夏季休業～
- 8/ 1 (火) 出校日
- 8/ 8 (火)・鹿大美術和田教授事前授業
リハーサル(13:00～)
- 8/21 (月) 出校日
- 8/27 (日) PTA奉仕作業
(住用中グラウンド 6:30～)

